

## 新福岡小学校の木（建て方）工事が始まります

令和5年4月開校を目指し建設を進める新福岡小学校建設工事の建築用木材の現場搬入・木（建て方）工事開始に合わせ、市産木材等の引渡しと現場見学を行います。

■日時 令和4年5月20日（金曜日） 9時00分から

■場所 中津川市立新福岡小学校建設工事現場（中津川市福岡字馬場平1-22）

### ■内容等

#### 【木材引渡し】

- 1) 市長挨拶
- 2) 議長挨拶
- 3) 受託業者代表挨拶
- 4) 記念撮影・・・木材の前で集合写真を撮影します。

#### 【現場見学】

建築工事現場の見学（出席者及び報道関係機関）

※ヘルメットをお持ちの方はご持参ください。

### ■出席者

【中津川市】市長、教育長、市議会議長、文教民生委員長、地元選出議員、統合準備委員会委員長、福岡校長会代表（福岡小学校長）

【工事関係者】建設主体工事受託業者（中島・岡山JV）、設計監理業者（石本建築事務所）、木材調達業者（丸山ホールディングス）

### ■新福岡小学校の概要

- 1) 校舎棟 木造一部鉄骨造 A=2,512 m<sup>2</sup>（延床面積 A=4,369 m<sup>2</sup>）
- 2) 屋内運動場 RC造一部鉄骨造 A=815 m<sup>2</sup>（延床面積 A=990 m<sup>2</sup>）  
屋内運動場の2階は学童室として整備
- 3) 共同調理場 鉄骨造 A=520 m<sup>2</sup> 1,200食/日の給食を調理、福岡小、苗木小中、蛭川小中へ配食
- 4) その他 別紙「(新)福岡小学校の建設概要について」参照

### <使用する木材の量>

材種	材積	うち中津川市産材		特記事項
			割合	
ヒノキ	550 m <sup>3</sup>	550 m <sup>3</sup>	100%	集成材：1,116本、柱材：3,685本、羽柄材10,790本
スギ	96 m <sup>3</sup>	92 m <sup>3</sup>	96%	柱材1,487本（1,487本のうち1,442本が市産材）
ベイマツ	36 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0%	集成材：148本
合板	298 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0%	合板は県産材100%
計	980 m <sup>3</sup>	642 m <sup>3</sup>	65%	※合板以外の木材の約94%、合板を合わせた全木材の約65%が中津川市産材

### お問い合わせ先

教育委員会事務局 施設計画推進室 担当者：伊藤

電話：0573-66-1111（内線4211）

# (新)福岡小学校の建設概要について

学校教育目標 「～ふるさとを愛する子～ やさしく・かしこく・たくましく」

基本コンセプト 「大屋根の下に多彩な活動が広がる学校」

## ◇コンセプト概要

### シンプルな構成の学校

- シンプルなL字型の構成
- 敷地内の曙松林公園を最大限に保存
- 中学校と連続性のある大屋根の外観
- 学校の中心に各教科メディアが集まる「メディアの森」を形成



### 地域や中学校との交流の場になる学校

- 小学校・地域の中心となる多目的広場を計画
- 小中の職員室の近接配置、メディアセンター・家庭科室の小中共同等、小中連携型の運営に対応した計画
- 小学校と中学校のグラウンドを隣接させて配置
- 明確な地域開放ゾーンを形成



### 地域産材の木材を使用した木造の学校

- 周囲の風景に呼応する大屋根の外観
- 一般流通材を用いて地域産材の木材を積極的に活用
- 在来工法の木軸構造を基本としたグリッドの構成による内観計画
- 内装材や家具に木材を使用し、木のあたたかみのある内観計画
- 「多目的広場」に地域産材を活用した4対の丸柱を配置



## ◇木材調達の状況

- 地域産材を可能な限り多く使うために木材調達を先行発注
- 木材調達量(3月末調達完了)

調達総量 980 m<sup>3</sup>

(集成材・製材品 682 m<sup>3</sup> 合板 298 m<sup>3</sup>)

↳うち、県産材 646 m<sup>3</sup> 95%

↳うち、市産材 642 m<sup>3</sup> 99%

全木材 980 m<sup>3</sup>(集成材・製材品、合板)の65%(642 m<sup>3</sup>)が中津川市産材



## ◇校舎概要

